

ごあいさつ



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、2014年度(第90期)上期における当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

2014年11月

代表取締役社長

池田隆之

事業の概況

2014年度上期の世界経済は、米国では景気は緩やかに回復し、欧州では低成長が続き、アジアでは景気は総じて堅調に推移いたしました。一方、日本経済は、消費税率引き上げに伴う一時的な景気減速からの緩やかな持ち直しが見られる中で、経済対策・金融政策による下支えもあり景気は回復基調で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは「グローバル・ワンストップ・ソリューション企業」を目指し、「グローバル化の加速」、「ソリューション・サービスの拡大」及び「安定収益実現に向けた企業体質改革」に鋭意努めてまいりました。

連結業績につきましては、システムソリューション事業及びグローバルソリューション事業がともに順調に推移したことなどから、売上高は前年同期比6%増の2,562億92百万円、営業利益は前年同期比15%増の122億18百万円、経常利益は前年同期比2%増の99億57百万円、四半期純利益は前年同期比32%増の51億48百万円となりました。なお、2014年度上期における売上高、営業利益、経常利益はともに過去最高値を達成いたしました。

通期の見通し

2014年度上期の連結業績が概ね当初の計画通りであったことから、2014年4月28日に公表した2014年度通期の連結業績予想は変更しておりません。

当社グループは引き続き事業規模の拡大に努めるとともに、国内外においてリソースや資産の一層の効率化に努め、収益力のさらなる向上に取り組む所存でございます。

株主の皆様には、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

▶▶▶ 2014年度上期の連結業績

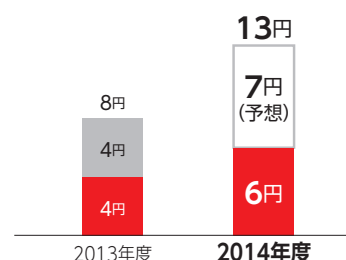
売上高 **2,563**億円 (前年同期比 6%増)
営業利益 **122**億円 (前年同期比 15%増)
四半期純利益 **51**億円 (前年同期比 32%増)

2014年度通期の予想

5,200億円 (前期比4%増)
280億円 (前期比21%増)
120億円 (前期比68%増)

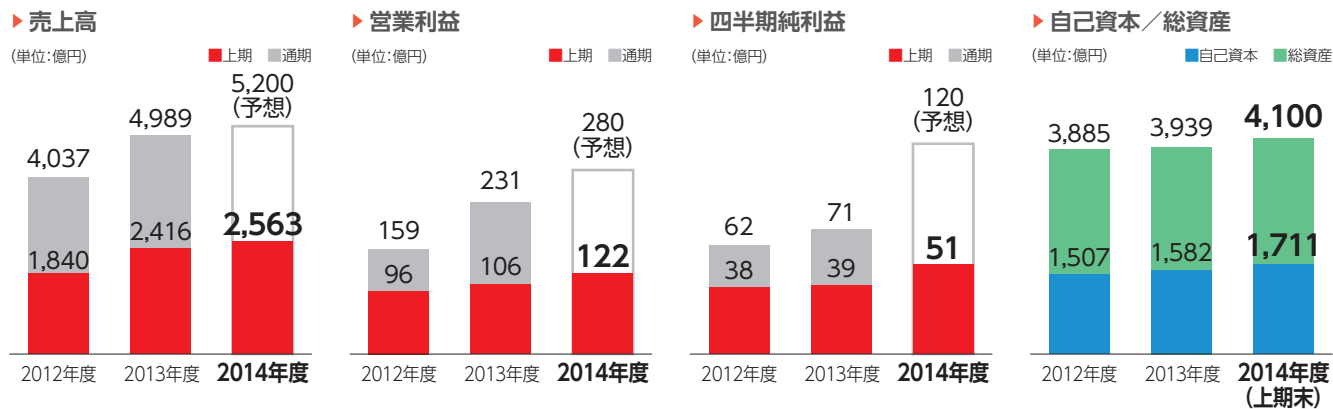
▶ 1株当たり配当金の推移

(単位:円) ■ 中間期 ■ 期末



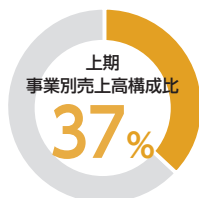
連結業績ハイライト

POINT システムソリューション事業及びグローバルソリューション事業がともに順調に推移し、増収増益。上期の売上高、営業利益、経常利益は過去最高値を達成。



各事業の概況

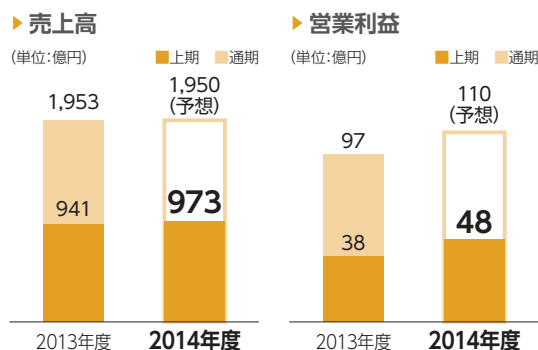
システムソリューション事業



事業の内容 国内市場向けPOSシステム、複合機、オートIDシステム*及びそのソリューション関連商品の開発・製造・販売・保守サービス等

上期業績概要

- **リテールソリューション事業**
ショッピングセンター・専門店向けを中心にPOSシステム関連の売上が拡大。
- **オフィスソリューション事業**
カラー複合機の販売台数が増加し、売上が拡大。
- **オートID事業**
流通小売業向け小型ラベルプリンタの売上が伸長も売上は前年同期並み。



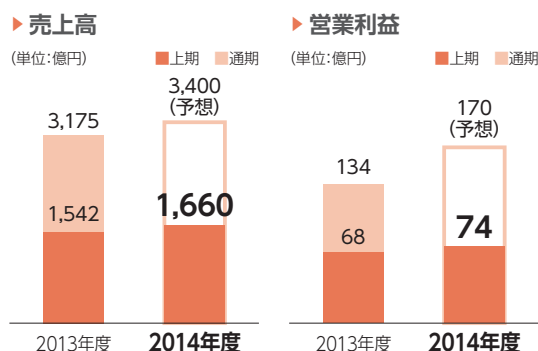
グローバルソリューション事業



事業の内容 海外市場向け複合機、POSシステム、オートIDシステム*、プリンタ及びそのソリューション関連商品並びにインクジェットヘッドの開発・製造・販売・保守サービス等

上期業績概要

- **リテールソリューション事業**
戦略的新商品の拡販等の施策や為替の影響などにより、米州市場及び欧州市場で順調に推移し、売上が拡大。
- **プリンティングソリューション事業**
当社独自の商品・顧客網を活用した差異化による販売活動の推進、戦略的新商品の拡販、為替の影響などにより、売上が拡大。
- **インクジェット事業**
主要顧客向け販売が増加。



*オートIDシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ICタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。

東芝テックカレンダー

上期のトピックス

月の区分は原則としてトピックスの発表月です。



リテール事業



プリンティング事業



AI/IJ事業



企業情報

2014年

5月
MAY



**モバイル端末との連携とセキュリティ機能を向上させた複合機
[e-STUDIO257/357/457/507][e-STUDIO657/857]を発売**

PICK UP ①

6月
JUN



高速かつ確実な貼り付けを可能とするオートラペラー[B-AL200]を発売

PICK UP ②

7月
JUL



**クラウド型電子マネー機能搭載のCT-4100シリーズが
WAONにも対応
～東芝テック製JET-S端末CT-4100シリーズ～**

多機能端末である東芝テック製CT-4100シリーズは、新たにイオン(株)の電子マネー「WAON」にも対応。今回の機能強化により多数の電子マネーを1台のリーダーにて対応することで、加盟店店頭における決済環境をより一層向上させることが可能。9月には(株)セブン・カードサービスの電子マネー「nanaco」にも対応。



CT-4100シリーズ



**飲食店向けセルフオーダーシステム
[RelaxOrder(リラックスオーダー)]を発売**

PICK UP ③



**小さなラベル印字にも対応する高精細ラベルプリンタ
[B-EX4T3-HS13-R]を発売
～印字位置精度±0.3mmを実現～**

600dpi相当の高精細と印字位置精度±0.3mmの印字性能を実現。従来機種B-458-HS13の印字位置精度±0.5mmと比べて大幅に印字性能を改善し、ラベル長3mmの小ラベルにも印字可能。



左: [B-EX4T3-HS13-R] 右: [ラベル長3mmの小ラベル]

8月
AUG



中期経営計画(2014～2016年度)を策定

CLOSE UP



**使いやすさと管理機能を向上させた高速フルカラー複合機
[e-STUDIO5560C/6560C/6570C]を発売**

本シリーズでは、複合機の使用を個人ごとに認証、管理するユーザー認証機能に加え、ユーザーや部門ごとに出力枚数を制限できる割当設定機能の強化など、管理機能が充実。さらに、紙やトナー切れを知らせるブザー機能の新搭載など使い勝手を向上させ、多くの方がストレスなくご利用可能。

[e-STUDIO6570C]
(オプション装着時)



**デザインと機能性を追求した電子レジスター [MA/FS-700、MA/FS-770]を発売
～スマートデバイスとの連携も可能に～**

本製品は、対面性を重視したフラットデザインを採用し、カラーは店舗の雰囲気に合わせて選べるピュアホワイト/クールブラックの2色をご用意。SDメモリーカードに対応し、売上データなどの情報をSDメモリーカード[FlashAir™]に保存しスマートフォンやタブレット端末とのWi-Fi通信で閲覧、印刷することが可能。

PICK UP ①



モバイル端末との連携とセキュリティ機能を向上させた複合機 [e-STUDIO257/357/457/507][e-STUDIO657/857]を発売

近年、モバイル端末の普及など、ビジネス環境が大きく変化、複雑化し、企業はセキュリティへの対応が強く求められています。こうしたお客様のワークスタイルの変化に対応して、スマートフォンやタブレット端末からの印刷指示やスキャンデータの保存指示ができるアプリケーションを提供するとともに、不正使用や情報漏えいの抑制に効果のある最新のセキュリティ技術を搭載しました。

また、高性能のマシンをより使いやすくする操作性を追求しながら、お客様の業務の効率化に役立つ機能も搭載しました。

当社は、お客様の複合機活用の領域をさらに拡大し、これまで以上の活用シーンを提案していきます。

● e-STUDIO257/357/457/507及び657/857の主な特長

1. モバイル端末対応
2. セキュリティ機能の強化
3. 紙切れブザー機能の追加
4. フルカラースキャン機能の強化



[e-STUDIO257/357/457/507]
(オプション装着時)



[e-STUDIO657/857]
(オプション装着時)

PICK UP ②



高速かつ確実な貼り付けを可能とするオートラベラー「B-AL200」を発売

B-AL200は生産ラインや出荷ラインなどで、1時間に2,800枚(ラベル長50mmサイズ)の高速印刷と貼り付けを実現する当社初のオートラベラー(ラベル自動貼付機)です。吸着パッドによる押さえつけ方式により、ベルトコンベア上を移動する製品への確実なラベル貼り付けが可能になりました。B-AL200は製造業や物流業などラベル類を高速かつ大量に印刷・貼り付けをする現場の効率化に寄与します。



● [B-AL200]の特長

1. 高速・確実なラベル貼り付け
2. 操作パネルで一括管理
3. 安全性・メンテナンス性の考慮
4. 単体でも使用できるラベルプリンタを搭載



左: オートラベラー[B-AL200]
右: 搭載されているラベルプリンタ
[B-EX4T1]

PICK UP ③



飲食店向けセルフオーダーシステム「RelaxOrder(リラックスオーダー)」を発売 ～顧客満足度や客単価を向上させつつも少ない接客人数での店舗運営が可能に～

本システムは、当社が多数の飲食店へのPOSや無線オーダーシステムの導入で蓄えたノウハウを活用して開発したセルフオーダーシステムで、当社無線オーダーシステム「OrderStar(オーダースター)」に接続して使用。

従来必要であった、セルフオーダー専用のサーバーを置く必要がなく、容易に導入が可能です。直観的な操作性や、シズル感のあるメニュー表示・コメント表示、滞在時間に合わせて自動的に切り替わる販促画面の表示などによって、お客様にリラックスしてお食事していただける空間の提供が可能になります。

飲食店では本システムを導入することにより、顧客満足度や客単価を向上させつつも少ない人数での店舗運営が可能になり、経費の削減にもつながります。将来的には、音声入力や、テーブル決済機能も搭載する予定です。

● [RelaxOrder]の特長

1. 多彩な機能で使いやすい
2. 簡易なメニュー設定
3. 導入しやすい



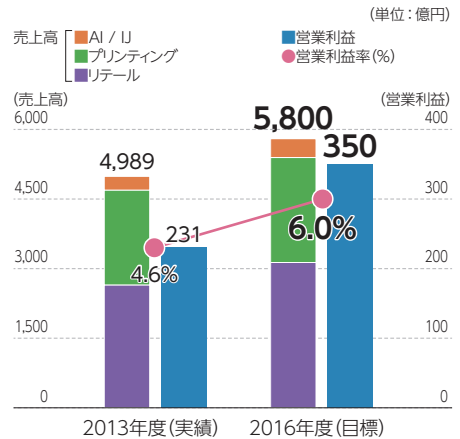
左: [RelaxOrder]画面イメージ 右: [RelaxOrder]使用イメージ

CLOSE UP

1. 中長期ビジョン／計数目標

8月5日、2016年度を最終年度とする東芝テックグループの中期経営計画を発表しました。本計画の実行により、2016年度には、連結ベースで売上高5,800億円、営業利益350億円の達成を目指してまいります。

- グローバル化加速
- ソリューションサービス拡大
- 安定収益実現に向けた企業体質改革

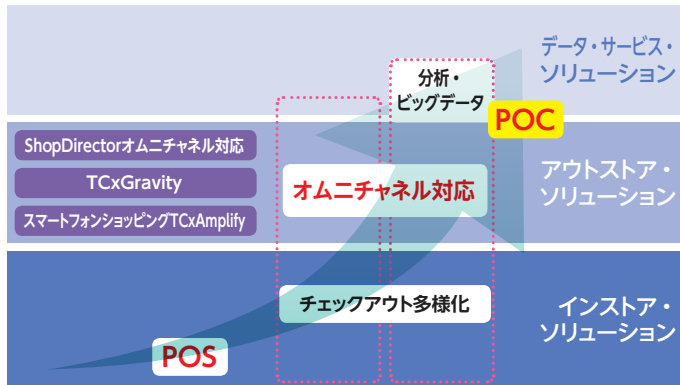


2. 事業戦略

リテール事業

▶ POSグローバルNo.1の顧客基盤を活かしソリューション事業拡大

インスタ・ソリューションからアウトストア・ソリューションへ、さらに、データ・サービス・ソリューションの領域へ事業を拡大



▶ オムニチャネル対応ソリューションを国内外で発売、積極展開

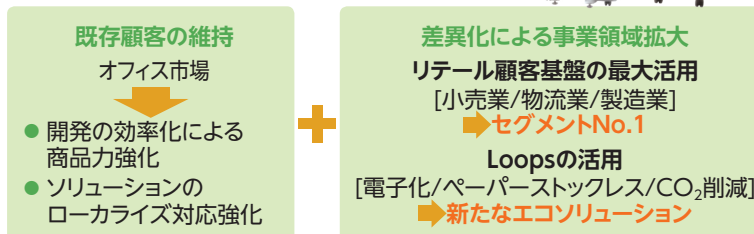
消費者が、消費者の都合にあった最適な購買ルートで商品を購入する「オムニチャネル時代」が到来。この市場の動きにいち早く対応し、店舗と顧客をOne to Oneでつなぐ「オムニチャネル対応ソリューション」を国内外で発売、積極展開を図っています。

商品事例

- ShopDirectorオムニチャネル対応(国内) 専門店に向けて提案推進中
- TCxGravity(海外) (米国)大手小売業数社が採用決定
- スマートフォンショッピングTCxAmplify(海外) (米国)スーパー、ドラッグストア大手が採用決定

プリンティング事業

▶ 既存顧客の維持とソリューションを中心とした差別化による事業領域拡大



第3の柱 AI(オートID) / IJ(インクジェット)事業

▶ 当社独自の差別化ソリューションをリテール、物流、製造の各シーンに展開(AI事業)

▶ 産業用印刷向けに当社の強みを活かした印刷ソリューションを提供(IJ事業)

3. 企業体質改革(効率化と人財の最適配置の実現)

▶ 生産性向上によるコスト削減

- TGCS*とのシナジー最大化
- グローバル・シェアード・サービスの構築

▶ ソリューション人財強化

- SE/ソリューション営業の増員
- グローバル人財の育成/活用

*TGCS: 東芝グローバルコマースソリューション社

会社概要

▶ 会社概況 (2014年9月30日現在)

商 号 **東芝テック株式会社**
TOSHIBA TEC CORPORATION

設 立 1950年2月21日

本店所在地 東京都品川区大崎1-11-1
(ゲートシティ大崎ウエストタワー)

連結子会社 国内:9社/海外:80社

資本金 39,970百万円

従業員数 連結:20,395名/単独:3,443名

発行済株式総数 288,145,704株

自己株式数 13,535,688株

株主数 11,139名

▶ 役員状況 (2014年9月30日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長 池田 隆之 (社長執行役員)

取締役 山本 雅人 (専務執行役員)
平田 政善 (常務執行役員)
市原 一征 (常務執行役員)
竹谷 光巨 (常務執行役員)
丹黒 浩 (常務執行役員)
坂邊 政継 (執行役員)
下光 秀二郎 *1

監査役 池田 浩之 [常勤]
北野 寛 [常勤]
大内 猛彦 *2,*3
松本 俊彦 *2

当社WEBサイトにて株主様、投資家の皆様向けの 情報をご覧いただけます。

● 投資家情報 (IR)

株価、株式情報、財務・業績、IR資料等の情報をご紹介します。

● 社会・環境活動 (CSR)

環境、社会貢献活動などのCSR活動をご紹介します。また、CSR報告書等も掲載しています。



<http://www.toshibatec.co.jp/>

執行役員 (取締役兼務者を除く)

常務執行役員 松本敏史、財満冠典
執行役員 川崎順一、麻生伸一、谷嶋和夫、
野波英隆、川村悦郎、松木幹一郎、
鈴木道雄、日吉武司

*1 社外取締役であります。

*2 社外監査役であります。

*3 東京証券取引所の定める独立役員であります。

株式事務に ついての ご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会関係/3月31日 期末配当関係/3月31日 中間配当関係/9月30日
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び全国各支店で行っております。

注記 (1)記載金額は、原則として億円単位は表示単位未満を四捨五入、百万円単位は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(2) 事業別売上高は、事業間の売上消去前にて表示しております。

(3) 業績予想及び配当予想については、2014年4月28日に公表した内容を記載しております。これは、当社が公表日現在入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

TOPICS

電子レジスター「MA-700/770」が 「2014年度グッドデザイン賞」を受賞

受賞理由

- シンプルでありながらオリジナルなキャラクターをつくりあげている造形が評価されました。
- 視認性、操作性においても、デザイン要素を簡潔にまとめ、使いやすいものとなっています。



電子レジスター
「MA-700/770」

